



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月4日

上場会社名 **株式会社エー・アンド・デイ**

(コード番号：7745 東証第一部)

(URL <http://www.aandd.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役執行役員社長 古川 陽
責任者役職・氏名 取締役常務執行役員管理本部長 森田 徹

TEL (048) 593-1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理における一部簡便的な方法の採用の有無 : 有
(内容) 税金費用等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。
その他影響が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いております。
- ② 会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	7,150	(19.6)	430	(3.0)	399	(13.0)	259	(13.3)
18年3月期第1四半期	5,980	(3.4)	417	(2.4)	353	(14.3)	228	(22.5)
(参考) 18年3月期	31,225	(22.6)	3,348	(25.0)	3,192	(32.2)	1,935	(34.4)

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	11.74	11.43
18年3月期第1四半期	11.28	11.08
(参考) 18年3月期	89.73	87.59

(注) 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第1四半期における経済環境は、好調な企業業績を背景に民間設備投資が増加し、個人消費にも明るさが見られ、全般的に堅調に推移いたしました。また国際経済は、原油価格高騰の長期化、地政学リスクの増大による影響等の不安要因があったものの、全般的には、着実な回復基調での推移となりました。

このような環境の中、当社グループは、顧客重視の営業活動を全面的に展開し、お客様信頼度を高めると同時に、技術革新に対応した商品開発に努め、新規事業の立ち上げ、既存事業の徹底したコスト低減に注力いたしました。

その結果、当第1四半期の売上高は7,150百万円（前年同期比19.6%増）となり、営業利益は430百万円（同3.0%増）、経常利益は399百万円（同13.0%増）、四半期純利益は259百万円（同13.3%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	38,813	17,458	45.0	788.20
18年3月期第1四半期	31,582	12,132	38.4	597.69
(参考) 18年3月期	38,787	17,399	44.9	784.06

(注) 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△1,093	△192	1,429	5,113
18年3月期第1四半期	△393	△359	11	2,897
(参考) 18年3月期	2,057	△3,936	3,211	4,975

(注) 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期における総資産は前連結会計年度末と比較して26百万円増加し、38,813百万円となりました。また、株主資本は59百万円増加し、17,458百万円となりました。これらの結果、株主資本比率は前連結会計年度末比0.1%上昇し45.0%となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,093百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少が528百万円、税金等調整前当期純利益が398百万円、減価償却費が283百万円等あったものの、法人税等の支払額が853百万円、たな卸資産が730百万円増加したこと、仕入債務が552百万円減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は192百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得に伴う支出が131百万円あったこと、無形固定資産の取得に伴う支出が40百万円あったことが主因となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,429百万円となりました。

これは、長期借入金437百万円減少いたしましたが、資金調達方法を手形割引から短期借入金にシフトしたこと及び決算・賞与資金の借入が発生したことを中心に短期借入金が1,934百万円増加したことが主な要因となっております。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して138百万円増加し、残高は5,113百万円となりました。

3. 19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	16,781	694	412
通期	35,131	3,628	2,331

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 105円30銭

【業績予想に関する定性的情報等】

当該四半期における業績は概ね順調に推移しており、平成18年7月6日に公表しました業績予想に変更はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予想であり、リスクや不確定要素が含まれております。そのため当社グループを取巻く経済情勢等により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる場合がありますのでご承知おきください。

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	5,513	3,277			5,348
2. 受取手形及び売掛金	12,002	9,814			12,547
3. たな卸資産	9,208	8,180			8,497
4. その他	1,295	1,192			1,439
流動資産合計	28,019	22,464	5,555	24.7	27,832
II 固定資産					
1. 有形固定資産	8,003	6,352	1,651	26.0	8,070
2. 無形固定資産	1,468	1,212	255	21.1	1,537
3. 投資その他の資産	1,322	1,553	△230	△14.9	1,346
固定資産合計	10,793	9,118	1,675	18.4	10,954
資産合計	38,813	31,582	7,231	22.9	38,787
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	3,223	3,725			3,785
2. 短期借入金	9,667	7,118			7,735
3. 1年以内返済予定 長期借入金	1,765	2,399			2,167
4. その他	3,613	1,729			4,590
流動負債合計	18,270	14,973	3,296	22.0	18,278
II 固定負債					
1. 社債及び長期借入金	1,882	3,178			1,918
2. その他	1,140	1,246			1,134
固定負債合計	3,023	4,424	△1,401	△31.7	3,053
負債合計	21,293	19,398	1,895	9.8	21,332
(少数株主持分)					
少数株主持分	61	51	9	18.2	55
(資本の部)					
資本合計	17,458	12,132	5,326	43.9	17,399
負債、少数株主持分 及び資本合計	38,813	31,582	7,231	22.9	38,787

2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	7,150	5,980	1,169	19.6	31,225
II 売上原価	3,952	3,298	653	19.8	18,039
売上総利益	3,198	2,682	516	19.2	13,186
III 販売費及び一般管理費	2,768	2,264	503	22.3	9,838
営業利益	430	417	12	3.0	3,348
IV 営業外収益	96	29	66	223.6	262
V 営業外費用	126	93	32	34.8	418
経常利益	399	353	46	13.0	3,192
VI 特別利益	—	—	—	—	18
VII 特別損失	0	10	△9	△90.9	55
税金等調整前四半期 (当期)純利益	398	343	55	16.1	3,155
税金費用	134	110	23	21.7	1,217
少数株主利益	5	4	0	21.6	2
四半期(当期)純利益	259	228	30	13.3	1,935

3. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	398	343	3,155
減価償却費	283	213	1,069
売上債権の増減額	528	526	△1,560
たな卸資産の増減額	△730	△309	△138
仕入債務の増減額	△552	386	215
役員賞与の支払額	△65	△43	△43
その他	△52	△709	860
小計	△189	408	3,558
利息及び配当金の受取額	4	6	38
利息の支払額	△54	△66	△323
法人税等の支払額	△853	△741	△1,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,093	△393	2,057
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の償還による収入	—	100	100
有形固定資産の取得による支出	△131	△231	△1,574
無形固定資産の取得による支出	△40	△67	△267
連結子会社株式の取得による支出	—	△115	△115
営業譲受に伴う支出	—	—	△1,897
その他	△20	△45	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	△359	△3,936
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	1,934	180	542
長期借入金の純増減額	△437	△117	△920
株式の発行による収入	13	3	3,732
その他	△80	△54	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,429	11	3,211
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	0	2
V 現金及び現金同等物の増減額	138	△741	1,335
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,975	3,639	3,639
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,113	2,897	4,975

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高	4,231	2,919	7,150	—	7,150
営業費用	4,050	2,428	6,479	241	6,720
営業利益	180	490	671	△241	430

前四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高	3,737	2,243	5,980	—	5,980
営業費用	3,449	1,886	5,335	227	5,562
営業利益	287	356	644	△227	417

[所在地別セグメント情報]

当四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高	6,262	1,382	167	2,209	10,022	△2,871	7,150
営業費用	5,847	1,438	176	2,065	9,529	△2,809	6,720
営業利益	414	△55	△9	143	492	△62	430

前四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高	5,421	898	171	1,314	7,806	△1,825	5,980
営業費用	5,028	906	174	1,237	7,347	△1,784	5,562
営業利益	393	△8	△3	77	458	△41	417